



今回は、モデル校の中から、萩間小の近況を報告します。6月8日(月)午後1時から、校長室で、第2回運営協議会が開催されました。最初に、松林校長先生から5月後半から始まった学校の様子をホームページの記事を中心に委員の皆さんに紹介されました。コロナ感染予防の為、長い休校状態でしたが、写真に写る子どもたちの表情は明るく、私自身ホッとしました。校長先生のお話の後、今回の協議会の中心である会長、副会長の選任が行われ、満場一致で会長に森田さん(現萩間地区長)、副会長に此常さん(萩間地区「絆づくり」実行委員会委員長)が選出されました。そして、この選出後、各委員が部会別(支援部、広報部、評価部、研修部、地区連携、全部部)に割り当てられ、それぞれの委員が役割を持った活動を行っていくようです。たとえば、広報部では、CSだよりを地域に発行することを考えているようで少し楽しみです。この後、6月19日に行われる「萩間明るい子どもを育てる会」の説明が坪池CSディレクターからありました。校長先生の話によると、教育課程上では、この会の時、地域の方々による授業支援、環境支援等の年間予定を確認することが行われ、先生方との打ち合わせも実施とのことでした。ただし、今年に限っては、時間と人数を削減して、萩小の教育の説明とともに、CS導入の説明や学校運営協議会委員の紹介にとどめるようです。最後に、放課後の支援に関して。各学校している放課後学習支援に加え、萩間小は、放課後のゆとりの時間を活用し、CSの力を借りて、月、金曜日にも「自習室」を実施しています。(この学習は「寺子屋はぎま」と呼んでいます)この学習への協力者を委員の方々にも呼び掛けられ、何名かが協力するようになり運営協議会は終了しました。



萩間小では、コミュニティ・スクールが順調に動き出していますが、焦ることなく、地域が誇れる地域の学校づくりをやることから、進めてほしいと願っています。(昨年の教頭会で講師として呼んだCSマイスター井上尚子さんから、「立ち上げての一年目は、協議会の委員が、学校のことを知るという1年でもいいと思います。委員と言っても地域の方、先生方が思っている以上に学校のことがわからないものです。学校のこと、子供のことが見えてくるのが大切だと思います。」と講話の中で話されていました。また、教頭先生方と視察させていただいた東山田中学校コミュニティハウスでは、竹原CSマイスターから「コミュニティ・スクールを立ち上げたからと言って、急に学校が変わるわけではない。地域とともにある学校を目指して、やれることを見つけてながら進めば、じわじわ漢方薬のように効いてきて地域とともにある学校に近づくものです。」と話をしてくれました。

立ち上げに向けて考えてくれている各学校、一歩踏み出して、まずは、CSディレクター候補を教務会等で検討してみてください。この後は、萩間小学校に作られた「コミュニティルーム<ちょっくら>」を紹介します。

コミュニティハウス「ちょっくら」

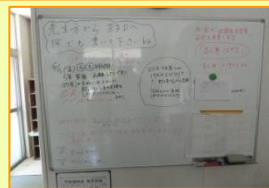


左側作面のホワイトボード

地域ボランティアリーダーさんの写真とそれぞれの活動の様子が掲示されていました。たくさんの方々が関わってくださっていることがわかります。

廊下側の入り口のホワイトボード

「先生方から坪池Dへ、何でも書いて下さいね」と書かれており、先生方から坪池CSディレクターへ依頼することを書けるようになっています。ちなみに家庭科の手縫いの支援の依頼、茶摘み体験日の調整が書かれていました。



右側側面のホワイトボード

<書かれていた内容>

- 6/4 14:00 花壇の花抜き 6/1 pm 机、椅子高さ調整
- 6/9 13:30 代掻き5年生 6/9 10:00 学区探検2年生
- 6/16 8:10 田植え5年生 6/19 am さつまいも献づけり
- 6/18 8:30 茶摘み体験・てんぷら 6/23 さつまいもつるさし
- 6/29 9:00 塩づくり6年生 6/1~12 1年生下校引率
- 6/5,8,12,15,22,26,29 寺子屋

盛りだくさんの計画にびっくりしました。



昇降口を活用した入口

萩間小の昇降口は、3カ所扉がありますが、児童が利用しない一番左側の扉が「ちょっくら」の入り口になります。ちょっくら寄って行ってみようという気になります。



<おまけ>

萩間小学校に向かう途中、子供と一緒に下校してくれる萩間小の見守りボランティアさんに偶然お会いすることができました。子供のペースに合わせ、休憩しながら歩いてくれました。

